

新年のごあいさつ



清須市長

永田 純夫

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた平成31年の清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃は市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、6月に大阪北部地震、7月には西日本を中心とした集中豪雨が、そして9月には北海道胆振東部地震が発生し、多くの尊い命が失われたことは記憶に新しく、犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、引き続き防災対策に傾注する意を強くする思いであります。

その一方で、2月には平昌オリンピック、6月にはサッカーワールドカップが開催され、日本中が熱気に包まれました。また、多くの国民に夢と感動を、社会に明るい希望と勇気を与えたとして、将棋の羽生善治氏、囲碁の井山裕太

氏、フィギュアスケート男子の羽生結弦氏に国民栄誉賞が贈られるなど、明るい話題に富んだ1年でもありました。

さて、本市におきましては、住宅耐震対策として耐震診断・耐震改修の支援を引き続き行っていくとともに、危険なブロック塀等の撤去費用の補助など、防災・減災への取り組みを強化してまいりました。また、新たに白黒塗装の防犯パトロール車両を整備し、パトロールや見守りカメラの増設により、地域の犯罪抑止力の向上に努めました。

子育て施策としましては、昨年4月に「子育て世代包括支援センター」を設置し、専門職を配置させることで、妊娠期から子育て期まで総合的な支援を行う体制を整えました。また、本年4月から全小中学校で放課後子ども教室を実施いたします。さらには、児童・生徒が快適な学校生活を送り、集中して学習できる環境を整えるため、全小中学校の普通学級に空調設備を本年6月末までに設置できるよう取り組んでいるところであり、今後も安全で安心な教育環境を確保してまいります。

建設事業としましては、計画的な都市基盤整備に向けて、名鉄名古屋本線新清洲駅付近鉄道高架事業を始め、土地区画整理事業、公共下水道事業、火葬場の整備事業などにつきましても、着実に進めてまいります。今後も国・

県との連携を深め、円滑な事業の推進や財源確保に努めてまいります。

また、市内移動の足として定着しております、あしがるバスにつきましては、市民ニーズに対応した運行をするため、1台増便し、路線の拡充、各ルートの増便、所要時間の短縮等を実施し、利便性の向上を図りました。

そして、築30年を迎えた清洲城につきましては、昨年10月に開催された記念イベントも盛況のうちに終わることができました。今後も本市のシンボルの一つとして維持していくためにも、長寿命化改修を進めてまいります。

本市が誕生してから13年余りが経ち、市としての実績を着実に積み重ねてまいりました。昨年12月には市人口が過去最多である6万9千人を超え、我が国が人口減少社会に移行する中にも人口が増加傾向にあり、さらに、平成29年の県内出生率が1位になるなど、数少ない元気な地域であるといえます。今後も、これまでのまちづくりの歩みを止めることなく、市の総合力を一段と高め、「力強い清須」の実現を目指してまいりたいと考えております。

結びに、新しい年が市民の皆様にとって輝かしい飛躍の年となりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



清須市議会議長
伊藤嘉起

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、平成31年の輝かしい新春を健やかに迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

平素は、市議会活動並びに市政運営に對しまして、温かいご理解と絶大なるご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

新年にあたり、市議会を代表いたしまして、ごあいさつを申し上げます。

新たな年を迎えるにあたり、議会の責務を遂行するために全議員の総力を結集し、清須市の更なる発展を願い、第2次総合計画の基本理念であります、「安心」・「快適」・「魅力」・「連携」を基に、本市の将来像である「水と歴史に織りなされた安心・快適で元気な都市」の

実現を目指し引き続き邁進する覚悟でございます。

市議会といたしましては、これまで同様、市民の皆様方の声に耳を傾け連携を二層密にし、市と一体となって進めるべきものについては、議員一丸となり市と協力して積極的に進めるとともに、時には厳しい意見も申し上げ、議論を尽くし、監視役としての役割も果たしてまいり所存でございます。

昨年、広島県に大きな被害をもたらした「平成30年7月豪雨」や9月に発生しました「北海道胆振東部地震」など多くの自然災害に各地が見舞われており、他人事とは思えない状況であります。本市におきましても、頻発しておりますゲリラ豪雨と称される集中豪雨や、近い将来発生が予想されております南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、更なる防災力の強化を図っていかねばなりません。

また、少子高齢化は急速に進行しており、育児、介護への支援加速を含めて、これらの社会福祉制度等の課題への対応、次代を担う子どもたちへの教育行政の充実など、積極的に取り

組まなければならない課題が山積いたしております。特に、最近の猛暑への対応として学校の教室へのエアコン設置は喫緊の課題であり、早急に取り組まなければなりません。

近頃の経済は緩やかな回復基調といわれますが、行財政運営の厳しい状況に変わりはありません。限られた貴重な財源をどのような施策に充てるべきか、市議会といたしましても議員一人ひとりの責務を全うし、議会の場で議論を尽くし、将来の清須市のあるべき姿をしっかりと見定めて市政に提言していくことが、私たち議員の重要な使命であると考えております。

私たち議員は、社会の変化に伴い複雑多様化する行政需要を適確に把握するとともに、議会の情報を適確にお伝えし、議会の公開性・透明性を高め、開かれた議会を目指してまいります。

結びに、本年も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章



あけましておめでとうございます。

昨年は、2022年度のオープンを目指すジブリパークの基本デザインを発表し、夢の実現に大きく前進した年でした。また、2026年アジア競技大会の開催都市契約を締結し、開催に向けた準備が加速した年でもありました。

そして、2027年度のリニア開業に向け、大交流圏の拠点として、道路ネットワークの充実など、愛知のポテンシャルを一層高めてきた1年でした。

時代は今、グローバル化とデジタル化の大きなうねりの中にあります。そうした変革期においても、愛知は、日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けていく存在でなければなりません。

今年も、次世代自動車や航空宇宙、ロボットを始め、ICTやAIなどのデジタル分野まで、幅広く産業集積を進めるとともに、スタートアップ支援に戦略的に取り組むことで、世界一の産業の革新・創造拠点を目指してまいります。

また、9月に開業する愛知県国際展示場を核とした国際観光都市の実現に取り組むとともに、幅広い分野でグローバル化を進め、愛知のプレゼンスをより一層高めてまいります。

そして、社会インフラの整備、農林水産業の振興、女性の活躍、医療・福祉、教育・人づくり、環境、防災、東三河地域の振興にも力を注いでまいります。

今年は、全国植樹祭やあいちトリエンナーレ、ラグビーワールドカップ、技能五輪全国大会・全国アビリンピック、G20外務大臣会合を開催します。しっかりと準備を進め、大いに盛り上げてまいります。

引き続き、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

愛知県 西枇杷島警察署長 渡辺 勇人



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた清々しい新春を迎えるのこととお慶び申し上げます。

また、平素から地域の安心安全のため、ご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、西枇杷島警察署では、昨年、「二市一町の安心・安全」を目標に掲げ、各種警察活動を推進して参りました。

そして、各自治体をはじめ地域の皆様、各種団体等による犯罪抑止活動、交通安全活動、非行防止活動など力強いご協力をいただき、地域の防犯力を高め、犯罪に強い地域とすることができ、侵入盗など皆様に不安を与える犯罪を大きく減らし、交通事故の減少を継続することができた一年となりました。しかし、残念ながら、交通死亡事故につきましては、『0(ゼロ)』とすることができませんでした。

今年も地域の治安を担う警察署として、「安心して暮らせる安全な二市一町」を目標に掲げ、亥年の「勇気と無病息災」をいただき、犯罪の抑止、交通死亡事故の抑止、青少年の非行防止、災害警備など各種警察活動を推進してまいります。

さらに、今年、愛知県では、植樹祭、ラグビーワールドカップ、G20外相会議など、大規模な行事が予定されております。地域の皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。